

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

基本方針

地域社会との信頼関係を基盤に、放送事業を中核としながら、幅広い事業活動を通じて地域の健全な発展と企業価値の向上に貢献する

2 中長期の経営戦略

1. 放送事業基盤の強化

地上波放送を基盤に、地域の関心や課題に対応した番組制作、報道・情報発信力強化、ステーションイメージ向上に取り組む

2. 複合的な営業提案

インターネット配信、SNS、イベント、地域企業・自治体連携などを組み合わせた企画提案で営業活動を強化

3. DX・生成AI活用

DXや生成AIの活用により業務の省力化・効率化を進め、経営資源を有効に活用

4. 放送外収益の拡大

放送コンテンツをインターネット配信、デジタルサービス、イベント、知的財産権活用へ展開

3 対処すべき課題

① 放送事業環境の厳変

- ・視聴行動の多様化と広告需要のデジタル領域へのシフトに対応
- ・採用・人材確保の難航と設備投資・インフラ維持コストの増加に対応
- ・経営ガバナンス強化、コンプライアンス徹底、人権尊重の推進

② 不動産市場の供給過多対策

- ・福岡ビジネス地区の大規模開発による影響を最小限に抑制
- ・百道浜地区の特性を活かした新規入居候補事業者の誘致
- ・テナント満足度向上と退去抑制、築年数を重ねた建物の設備更新

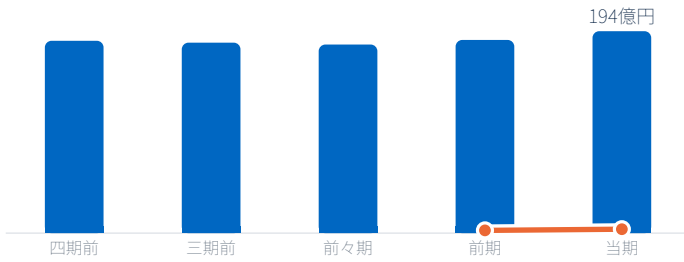
③ その他事業の収益性改善

- ・番組制作・CM制作での受注拡大と労務費増加への価格転嫁
- ・案件ごとの収益管理厳格化と採算性精査の強化
- ・BPO事業の営業体制・運営体制強化と人材確保

面接で使えるポイント

- ・地域に根ざした放送局として、視聴者・地域社会との信頼関係構築が最優先
- ・放送を中核としながら、インターネット配信やSNS、イベント連携など複合的な営業活動で収益機会を拡大
- ・生成AIやDXを活用した業務効率化と、コンプライアンス・ガバナンス強化による持続的成長

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
194億円営業利益率
2.0%財務健康度
57点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 54.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

